

悠游たより

第272号 発行 新居浜生涯学習大学
令和7年 〒792-0023

11月



新居浜市繁本町 8-65
電話・FAX(0897) 33-2991
メール n-daigaku@city.niihama.lg.jp



アンサング・ヒーローを讃えて ~語り継ぐことで人は生き続ける~

「人の寿命は無常なり。出づる気は、入る気を待つことなし。風の前の露、尚譽へにあらず。かしこきも、はかなきも、老いたるも若きも、定め無き習ひなり。されば、先づ臨終の事を習ふて、後に他事を習ふべし。」鎌倉時代の宗教家日蓮聖人の言葉です。寿命が尽きるのは人の世の定め、誰もが辿る道とはいえ、交流の深い仲間を見送ることは哀しいことです。この言葉のように、先に臨終の時のことを考え、その上に日々の生き方を考えて行動していくことは凡人には難しいものです。しかしながら、逝った人の生き様から、この人は自分の最期を見据えて生きていたのだなと思わせる人がいると感じことがあるのも事実ではないでしょうか。

9月末に突然の訃報が入りました。長年にわたり生涯学習大学の“まなびすと”として一緒に活動された近田浩氏が突然の事故で亡くなられたのです。彼はとても話し好きで、よくセンターにやって来て、自分の体験談や日々の地域での活動の経過報告を熱く語ってくれました。会社に勤めていた頃は、上司の顔色を窺い、従順に命令に従って働いていた、まさに昭和の時代の典型的な二十四時間働けますか型のモーレツ社員だったそうです。振返ると生涯学習大学開設当初には「退職したら何をやったら良いのか分からん、何をやったら良いかを教えてくれ」そんな相談を受けたこともあります。あれから30年、“会社人”的人生観を180度転換し、“社会人”への道を歩むことを自ら選択した、人生百年時代の模範として彼の生き方をずっと尊敬してきました。

彼は自分が善いと信じた事に何でも挑戦していこうと決心したそうです。まずやったことは、自分が暮らしている自治会の中の高齢者のつながりづくりでした。持ち前の笑顔と飘々とした雰囲気で、地域の高齢の方々に信頼され、よき世話人として甲斐甲斐しく動かれました。“ふ唱ふ隨”的ご夫婦で、コーラスやお手玉、親睦旅行、更にはみんなが学んだ成果を還元し、活躍できる場を沢山つくりました。手づくりの新聞で情報発信し、センターに仲間達と一緒に来られ、お手玉や歌声を披露してくれました。何歳になっても社会とつながっていること「キヨウイク」と“キヨウヨウ”が大事だ」が口ぐせでした。保健センターとの関係では、健康寿命延伸のために自転車で市内を駆け巡り、健康に関わる情報紙を配って伝道師の役割を担っていました。また、公園管理のボランティアを引き受け、トイレが荒らされた折には本気で怒っていました。最近は、生涯学習大学で学んだSDGsの活動に賛同しペットボトルのキャップやハブラシ回収に取組み、学校や会社のOB会で仲間と一緒にSDGsの啓発に尽力していました。私にはまだまだやりたいことが一杯あるんだと愉しそうに笑顔で語っていました。

そんな健康に人一倍気を配り、血管年齢は10歳以上若いと自慢していた彼にも寿命が尽きる時はやってきました。それが自らの使命として取組んできた見守り活動の最中に訪れたのはいかにも彼らしいと感じました。後日、家族の方に聞いた話では、亡くなる数日前から懐かしい人に挨拶を交わしていたとのこと、センターにも二日前に来て、研修旅行に行けなくなつたと告げ「来年こそは行くよ」の言葉が最後の会話でした。今思えば、彼はきっと臨終を先に習っていた気がします。その上に立って日々の利他の行動があつたのでしょう。彼の生き様はまさにアンサング・ヒーロー(地上の星・縁の下の力持ち)だと思うのです。誰かが語り継いでいくことで、その人の命はずっと生き続けていくはずです。近田 浩さんのこれまでの地域や生涯学習大学への貢献に対して心から感謝し、慎んで哀悼の意を表したいと思います。

合掌

(文責 関)

賢い生活者になるための講座（新居浜市消費生活センター）から

消費生活センターは、お店（業者）とお客（消費者）間のトラブルに関する、お客（消費者）専門の相談窓口です。相談員が問題解決のための助言や手助けを行います。

9月3日に、当センターの相談員が「悪質商法・振り込め詐欺にご用心！」をテーマに、「賢い生活者になるための講座」を行いました。

その内容のうち、特に気をつけていただきたい事例を紹介します。

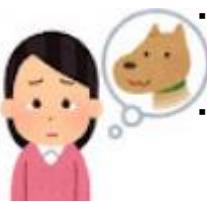


【悪質動画広告で届く粗悪品】

事例 動画の広告で本物の犬と見間違えるほど自然な動きをしている子犬型のAIロボットを見て購入したが、実際に届いたのは広告とは全く異なるおもちゃのような粗悪品だった。

アドバイス

- ・ 購入申込みをする前に、公式サイトの有無、URLの安全性、企業情報の信頼性、連絡先、返品返金条件などを確認しましょう。
- ・ 通信販売には、クーリング・オフ制度はありません。返品については原則として事業者が決めた返品特約に従うことになります。
- ・ 宅配業者等に代金を支払って商品を受け取る「代引き決済」の場合は、後で商品が粗悪品や偽物とわかった場合も返金が困難な場合があるので、支払方法が「代引き決済」しか選択できない場合は特に注意しましょう。



【ニセ警察詐欺】

事例 「あなたの口座が犯罪に使われている。」と警察官を名乗る者から電話がかかり、「口座を調査する。現金を確認する必要があるが捜査が終わればお金を返す。」などと言われ、指示された口座に現金を振り込んだ。

アドバイス

- ・ 犯人は警察署の電話番号を偽装表示させる場合があるので、「お金の話」になるなど、不審点があれば「所属」「氏名」「内線番号」等を確認したうえで一度電話を切り、警察署の正しい電話番号を自分で調べ直して相談しましょう。
- ・ テレビ電話で偽の警察手帳や偽の逮捕状を見せてくる場合もありますが、警察がテレビ電話やSNSで連絡をすることはありません。



《お知らせ》

奇数月の市政だよりに「消費生活センター通信」を掲載し、注意すべきトラブル事例とアドバイスなど、消費生活に関する情報を発信していますので、是非ご覧ください。

消費者トラブルで困ったとき、悩んだときはご相談ください！

新居浜市消費生活センター



場所：新居浜市役所2階南側

電話：(0897) 65-1206

相談受付時間：8:30～17:00

(土日祝日年末年始を除く)



「競争ではなく、楽しく共走」

No.53

私の生涯学習

武智 真由美

3年目の「けん玉遊び」講座で、悠游たよりの原稿を依頼されました。まずは、マラソンの話から始めます。32歳から10年続けたエアロビクス、これが私の体力の源となっています。39歳でマラソンを始め、10km走を55分切ればハーフ、ハーフを完走できたらトライアスロン、これができたらフルマラソン、そして、フル以上の距離を走るウルトラマラソン、最終目標は、2日間で250km走る萩往還でした。萩往還とは、私が尊敬する吉田松陰先生も歩いたであろう萩往還道を含む萩市内250kmを走るレースです。どうしたら達成できるか逆算して練習計画を立て、考えられるあらゆる練習をして、250kmを完踏することができました。家族の協力は勿論ですが、共に走った仲間の支えがあってこそ達成でした。マラソンは「競争ではなく、共に走る共走」このことを身に染みて感じた次第です。

マラソンは、10年間は練習すればするほど記録が伸びて本当に面白いです。関西などの遠征先で見ず知らずの方に本当に良くしていただきました。感謝してもしきれません。24時間マラソンでは、164kmという記録がありますが、飲食料・眠気覚ましなどを提供してくれた方々の顔が頭に浮かびます。この恩をどこかで返さねばと思っていた矢先、西連寺自治会長から西連寺自治会副会長・女性部長の任を賜り受けました。

もう、あれから12年、マラソンに捧げていた情熱全て、西連寺自治会に捧げて楽しんでいます。敬老会を企画するにあたって、出演者を探さねばならず、ならば自前でということで西連寺合唱部を作りました。混声3部合唱にこだわり、自治会館で練習に励んでいます。9人からスタ



ートした部員も、今は18人、今年で10年目を迎えます。

私は四阪島出身で、四阪島中学校の最後の卒業生です。その経験を踏まえて、地域を活性化させる為には、餅つきと盆踊りしかないと思い、みんなに呼び掛け、今では自治会恒例の行事となっています。これからも、みんなが喜んでくれることを考え、共に楽しんでいけたら幸せです。





講座カレンダー



予定のご確認を…

※警報や災害・講師の都合などで
日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
1	月	M・健康体操	1	楽しく健康体操	10:00	ふれあい多目的アリーナ
2	火	自然探訪	4	大島の自然（大島）	9:30	現地
		おとなのための 絵本セラピー	6	あたらしい日	13:30	生涯学習センター研修室
3	水	◎新・雑談しま専科	7	にいはま弁でむかし話を語る	9:30	生涯学習センター研修室
4	木	M・アレンジスワッグ	1	フラワーアレンジメントや スワッグ	13:30	生涯学習センター研修室
6	土	松山大学公開講座	9	愛媛の地場産業と 環境時代への対応	13:30	生涯学習センター研修室
8	月	学ぼう！ 健康長寿の秘訣⑧	5	もしものときを考えよう	13:30	生涯学習センター研修室
10	水	◎懐かしの心の唄講座	6	童謡、唱歌、ラジオ歌謡など時代 が生んだ懐かしい歌を唄う⑥	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年 健康に生き 抜くための医学講座	6	冬の健康管理 ～ヒートショック・感染対策～	14:00	文セン別館視聴覚教室
12	金	文化財見聞録 (市内編)	3	飯岡から大生院地区の 文化財をめぐる	9:30	現地
13	土	日本文学講座	6	漱石「坊ちゃん」と 明治の文化誌(2)	13:30	生涯学習センター研修室
17	水	別子銅山の歴史をたど る(初級)	5	戦後の復興	10:00	生涯学習センター研修室
18	木	別子銅山の歴史をたど る(上級)	5	銅の話	10:00	生涯学習センター研修室
20	土	日本文学講座	4	新居浜市出身の俳人、本田三嶺子と品川鈴子の 俳句人生について	13:30	生涯学習センター研修室

※⑧がついている講座は聴講可能講座です。

※「日本文学講座」4回目が12月20日に変更となっています。

新任のごあいさつ（事務局）



10月1日から生涯学習センターでお仕事させて頂いております、毛利真希と申します。生涯学習での仕事は初めてになります。皆様にご指導頂く事多々あると思います。自分の為になり、知識を深める事ができる講座が沢山あるので、楽しみながら仕事しています。皆様との出会いを大切にし、共に学び、生涯学習を通じて沢山の方達に良さをお伝えする事ができればと思っています。まだまだ微力ではありますが、力になれるよう頑張っていきますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。